

たかのす

人口と世帯数		
11月30日現在 (前年比)		
総人口	25,287人	(3人減)
男	12,331人	(5人増)
女	12,956人	(8人減)
世帯数	6,985世帯	(3世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



働く若者

美容院で働く長岐奥美子さん(七日市・23歳)。
彼女、中学校を卒業と同時に秋田市の美容学校に入學、四年間秋田の美容院で働きながら美容試験に合格。四十九年十月に町に帰ってきた。
お客さんと接しての仕事だけに応対には気をつかっているというが、人あたりは大へん柔かい。
現在、お茶と生花を習っているが、納得がいくまで続けたいと意欲を燃やしている。
昨年の十二月には美容師の管理者資格を取得、いい人がいたら結婚したいという彼女あとはステキな男性を待ってばかり…。

No.352

52・1・15

職員は常に研さんを重ね

町民の付託に応えるように!!

「仕事始めで出川町長語る」

出川町長は、仕事始めの四日午後二時半から、全職員を前に年頭の所感を述べました。

あいさつの中で「職員は常に研さんを重ね、行政の担い手としてフコ意識に徹し、二万五千町民の付託に応えるように」など、次のように述べました。

古い中国のことは「身体髪膚これ父母に受く、あえて……」ということがあります。

健康であるということが、両親へのなよりの孝行であるという意味ですが、年頭にあたり職員のみなさんに望みたいことは、まず第一に身体を大切にしてほしいと

いうことです。そして、自分の持っている能力、体力、知力を十分に出しながら地域社会に貢献してもらいたい。

役場の仕事も分業化され、多岐にわたっているが、自分の担当する仕事について熟知することは勿論であるが、担当以外のことも広



職員を前に年頭のあいさつをする出川町長

て研さんを重ねてほしい。

「時は金なり」です。

町の仕事として福祉、教育、産業振興など、みな大切なことですが、単に町長がいつてみてもできることではなく、職員のみなさんの力の結集がこれらの充実を図る原動力なのです。

みなさんは、鷹巣町の職員であるという意識をもち、常に町民のためになっているかどうかを考え、二万五千町民の付託に応えるようフコ意識に徹し、自信と誇りをもって仕事にあたりたい……などを述べました。

国民年金

拠出制老齢年金受給者へ

忘れずに現況届を!!

「年金を止められては大変です」

国民年金の老齢年金を受けている人は、年四回の各支払期ごとに自動的に支払われていますが、引き続き年金を受けるためには、年一回「国民年金受給権者現況届」という届けを出さなければなりません。(七十歳から支給される老齢福祉年金を受けている方は不要です。)

今年、この届を出さなければならぬ人は、昨年二月十五日以前から老齢年金を受けている人となっています。

この方々には、社会保険庁から

「現況届」の用紙が送られてきますので、説明をよく読んで、必要事項を記入して役場から証明印をもらい、切手を貼って二月十五日までに必ず出してください。

もし、二月十五日までに出さないと六月期から支払われる年金が受けられないこともありますので注意してください。

また、この届は折り曲げたり、汚したりしないよう特に気をつけてください。

不明な点は、役場年金係へおたずねください。

町長日誌

12月16日～12月31日

16日 林業構造改善事業現場視察

17・18日 町議会本会議(二般質問)

20日 民生委員全員協議会

21日 町議会総務常任委員会

23日 七日市地区集落センター敷地箇所踏査

27日 町議会常任委員会

23日 町議会本会議(最終日)

27日 青少年問題協議会

27日 綴子大太鼓収納庫竣工式

12月16日～12月31日

17日 議会運営委員会、町議会本会議(一般質問)

18日 町議会本会議(二般質問)

20日 各常任委員会

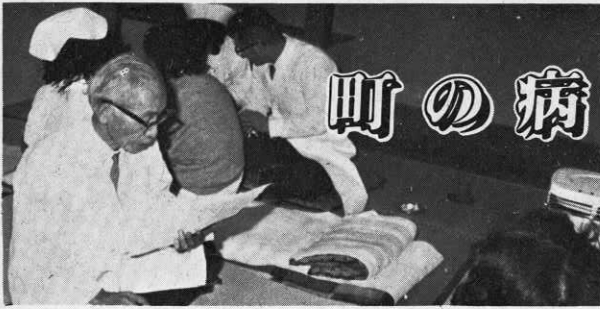
21日 総務、教育民生、建設水道各常任委員会

23日 町議会本会議(最終日)

たばこは

町内から

買いましょう



町の病気の実態

国民健康保険では、昭和五十一年五月診療分をもとに、鷹巣町の病気の实態を罹病率、医療費の面から分析してみましたので、その概要をお知らせします。

□ 国保疾病統計から □

一カ月の医療費 五千九百万円も

五月診療分(一カ月分)の総数では、国保加入者一万二千三百六十五人のうち、病気やケガで医者にかかった人が四十二%にあたる五千七百七十八人おり、その医療費が五千九百二十三万円になっています。この一カ月分から五十一年度一カ年分を推計すれば七億五千万円余りにもなり、一人当たりでは六万三千円にもなります。

医療者にかかった割合を示す罹病率でみれば、百人のうち半数近い四十二人が何らかのかたちで医者にかかっています。

罹病率のベスト10では、感冒、インフルエンザいわゆる「カゼ」がトップで、県民病、町民病といわれる「高血圧、脳血管疾患」が二位で群を抜いており、三位に、「歯の疾患」が入っており、いぜん三大疾病をたもっています。

また「リウマチ性疾患」「眼の疾患」が四位、五位と安定してつづいており、「胃、十二指腸疾患」が七位にあがっています。

罹病率のベスト10

- ① 感冒、インフルエンザ…………… 911 人
- ② 高血圧症、脳血管疾患…………… 845 人
- ③ 歯の疾患…………… 583 人
- ④ リウマチ性疾患…………… 378 人
- ⑤ 眼の疾患…………… 377 人
- ⑦ 胃、十二指腸等疾患…………… 277 人
- ⑧ 皮膚の疾患…………… 262 人
- ⑨ 神経痛…………… 249 人
- ⑩ 心臓、循環器系の疾患…………… 189 人

罹病率では カゼがトップ

医療費のベスト10

- ① 高血圧症、脳血管疾患…………… 15,491,320 円
- ② 悪性新生物(ガン)…………… 6,275,620 円
- ③ 心臓、循環器系の疾患…………… 4,787,900 円
- ④ リウマチ性疾患…………… 4,524,180 円
- ⑤ 胃、十二指腸の疾患…………… 4,053,840 円
- ⑥ 感冒、インフルエンザ…………… 3,817,470 円
- ⑦ 歯の疾患…………… 3,488,660 円
- ⑧ 不慮の事故…………… 2,649,210 円
- ⑨ 精神病…………… 2,595,440 円
- ⑩ 皮膚の疾患…………… 1,561,830 円

医療費は 高血圧が第一位

医療費のベスト10では、「高血圧、脳卒中」が総額の二十六%にあたる千五百四十九万円が断然トップにあり県民病、町民病の座はゆるぎそうにありません。

二位には「ガン」が十一%の六百二十八万円、成人病としてのおそろしさを示しており、三位は「心臓疾患」、四位には「リウマチ性疾患」と続いています。

また、現代病と云われる「精神病」が二百六十万円で九位と年々増えてきており、いろいろと問題を投げかけています。

みんなの注意で 健康な町づくり

このようにして見てみると、み

なさんがふだんの注意と予防でふせげる病気が以外に多いことがわかります。

なかには一人の患者が同じ病気でありながら数軒の病院にかかっている例もみられ、医療費むだづかいの原因にもなっています。

また「ガン、脳卒中、不慮の事故」等は、多額の医療費を使いながら働きざかりの身体を不具廃疾にしたり、尊い生命を奪ったりしてしあわせな家庭を大きな不幸におとし入れてしまっています。

これに対処するには、一人一人が病気に関心をもち、予防接種や成人病検診などの集団検診をすすんで受け、日ごから家族みんなで注意し合い、自分の家庭から自分の町内から病人をなくすることが大事です。

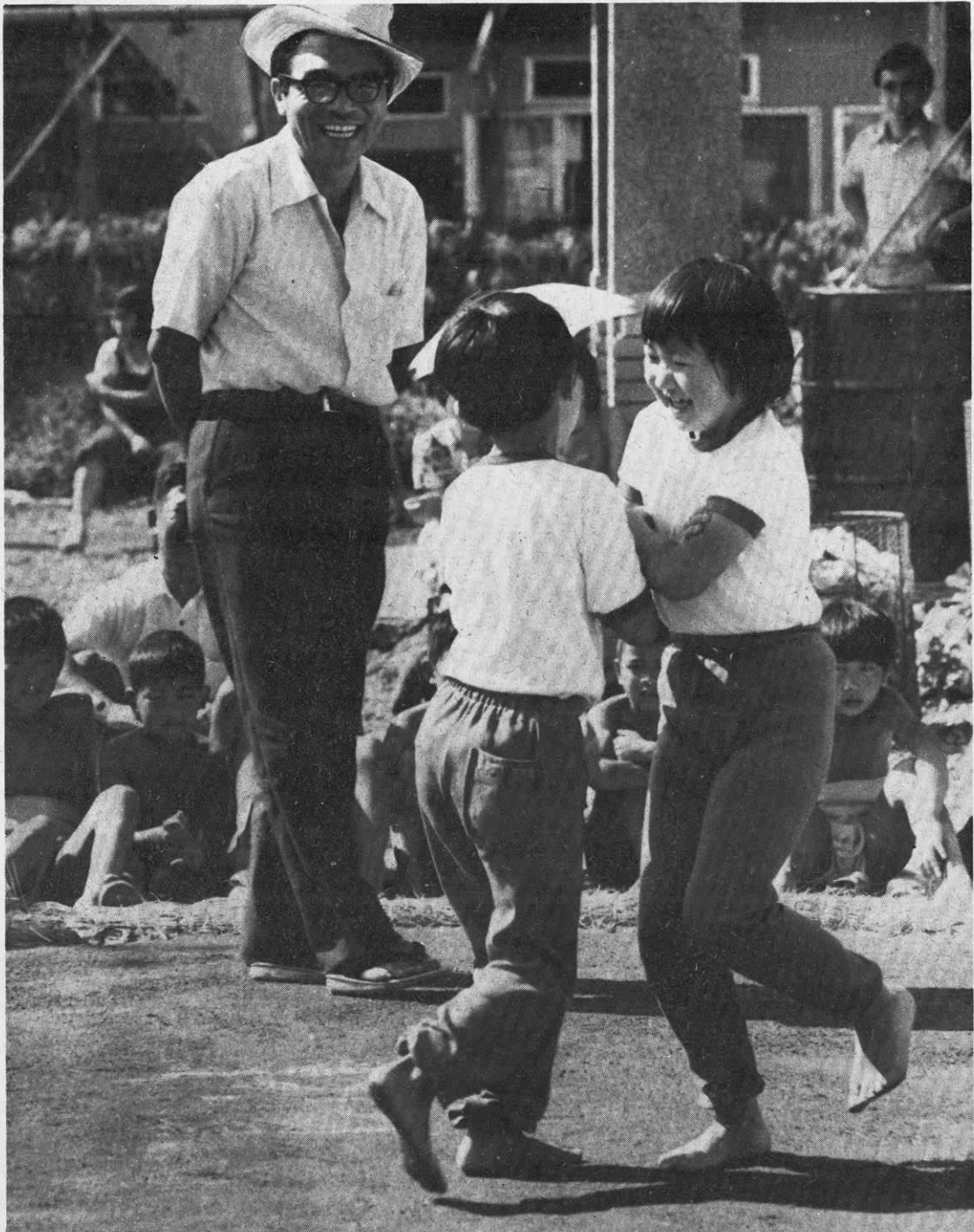
いま一度、みんなで鷹巣町の病気の实態を考えてみましょう。

第3回広報写真コンテストから

第3回広報写真コンテスト（課題＝スポーツ）を、昨年9月1日から11月30日までの応募期間で実施したところ、71点の応募がありました。応募作品のなかから優秀作品を数回にわたり掲

載いたします。

なお、広報掲載にあたっては、一部、写真をトリミングしておりますのでご了承ください。



〔特選〕

子ども会かた足相撲

藤島貴美人（旭町）



運動会 松尾重行 (太田)



〔入選〕 ジェンカ

成田金也 (今泉)



〔入選〕 婦人バレー

関口よし子 (西仲通)

みんなの広場



仕立て上げる 喜びに燃えて

和裁講座にひろう

洋裁をやったが、今度は和裁も勉強したい。
子どもに手がからなくなってきたから、もう一度基礎から勉強したい。

お茶飲みばかりでなく、何か身につくことを学びたい。
そんな意欲をもってがんばる公民館の和裁定期講座を紹介しましょう。

講座のある日が待ち遠しくならず、普通は二回の学習を、特別にお願いして月三回指導してもらうことにしたんだそうです。
そんなわけで、みなさんの熱意

が高く、午後一時の定刻前にはもう十数人がパッと集まって、会場や用具やら、作品の制作やらに精を出すといったぐあいです。
そして、四時ごろうす暗くなるまでがんばります。

おじゃまして話をうかがうてみると、二十代の若妻から六十代のおばあちゃんまでが一緒に、ここにこしなが針を動かしていました。



熱心に学ぶ和裁講座

この講座は、五十年の春から開講となったのですが、前期からの方は丹前下の作り方を終えて、編入れをやっています。十一月からの後期生は、今丹前下の制作中です。

学級日誌を、みんなが交代で書いているようで、学習内容のほかに感想を入れているのが目立ちます。

七月〇日「衿(えり)先と袖(そで)つけの止め。衿つけと仕上りの人もいて楽しい一日でした。」

八月〇日「実習(丹前下)ようやが仕上がり。少し失敗もありましたが、自分で一枚仕上げたこ

とはとてもうれしいと思いました。」

先生は、二人一人の受講生のそばへ寄って「こんなふうに止めるのよ」「ちょっと貸してね」と、模範を示します。まったく、手を取って教えるといった接触ぶりです。何かとが通じ合う感じが

「短期間に、こんなに上手になるのですかねえ」と感嘆しているのと、「宿題があつて鍛えられますから」と、先生も生徒も一緒に高笑いをしました。ゆかた一枚を心を込めて縫上げた時の満足感は一ひとしおだと思えます。
まことに愉快で熱心な講座です。

和裁講座に参加して

旭町 会田 美夫

サラリーマンの宿命ともいうべき何回目かの転勤で、また新しい土地・鷹巣に住むことになりました。

子どもたちは友だちもでき、学校にもどうにか慣れてくれ、ほっとすると同時に、こんな生活の連続にすまない気持ちでいっぱいです。主婦の私は、家とスーパーの往復で、地域の行事にも参加することなく過して三ヶ月となりました。

そんな時、公民館活動として文化講座後期の受講生募集を知り、二人の娘を持つ私は、娘の着物を

自分で作って着せたいという大きな夢をもち、和裁講座に参加しました。

十一月から始まり、前期の受講生はすでに作品も数多く、私たち後期生は第一作として丹前下を仕上げたところです。
一つの物を作り、完成させた気持ちは何ものにも代えがたい満足感でいっぱいです。

講師は九島令先生で、だれにも親切にいいに指導くださるので教室はとてもごやかなふん困気です。受講生も少いから個人教授だとみな喜んで、月三回の受講日

を楽しみにし、未だ完成しないものを持ちながら、次の制作を考えて意欲をもやしています。
後期からは受講生の自主運営となり、公民館のご協力を得て、息の長い楽しく意義ある講座にしていきたいものと責任を感じています。

農業基本調査にご協力を

毎年ご協力をいただいております「農業基本調査」が、ことしも二月一日現在で始まりです。

町で委嘱した調査員の方が農家を訪問し、面接のうえ、経営耕地面積など九項目のききとり調査を行いますので、お忙しのところ非常に迷惑かと思いますが、今後の農業経営の資料として大事な調査ですので、よろしくご協力くださるようお願いいたします。

ママさんスキー教室 室で受講生を募集

ママさんスキー教室が、二月三日から三月十日まで町営業師山スキー場で開かれます。

開講日は、毎週木曜日、午前十時から十一時半まで。
参加希望の方は、早めに鷹巣体育館(電話二一三八〇〇)へ申し込みください。



出初式で無火災祈願

鈴木・佐藤の両氏が 有功章を受彰



出初式のパレード

鷹巣消防団恒例の出初式が四日行われました。

当日は、午前九時から消防団幹部が鷹巣神社に無火災を祈願、引き続き十時から町内パレードにうつり、米代町秋田相互銀行前で出川町長、村上消防団長の観閲を受けました。

このあと公民館で式典を行いました。席上出川町長は、「昨今の災害発生状況は、人身災害が多くみられるが、幸いわが町においてはみなさんの予防徹底により、このような事故のなかったことは本当によろこばしいことです。

町では昨年、貯水槽及び防護棚の完備に努めたが、五十二年度は消防車の購入など諸施設の充実にあたり、団員が身を挺して消防活動にあたるよう行政の責任においてすすめてまいりたい。

みなさんは、団長を中心に絶え間ない訓練にあたり、この地域の災害を最少限に食い止めることができるよう、今後とも特段のご健闘をお祈りする」とあいさつ、続いて次の方に有功章、永年勤続表彰が行われました。

- ▽有功章 鈴木祐一郎(綴子) 佐藤仁一郎(沢口)
- ▽功労章 藤内勲 小前清次 大川長治郎(以上七座) 戸島与志夫(坊沢) 佐藤辰雄 小塚長太郎 佐藤吉次 小塚三夫 近藤文一郎(以上沢口) 畠山小八郎 清水国治(以上七座)
- ▽三十年勤続表彰 村上儀八郎 松岡定雄 斎藤金逸(以上栄) 戸島与志夫(防沢) 小笠原正一 大川長治郎(以上七座) 佐藤禎一郎

- (綴子) 花田満 佐藤吉次 佐藤辰雄 花田勝美 小塚三夫 小塚昇 神成雄一 神成正一 佐藤春吉 佐藤東一郎(以上沢口)
- ▽二十五年勤続表彰 藤島文市 米沢長治(以上綴子) 松尾与市 岩谷信夫 岩谷秀雄 長谷川伊久雄(以上栄) 小塚長太郎 佐藤直治(以上沢口) 岩本進 岩本新三郎 松前文治 清水国治(以上七座)
- ▽二十年勤続表彰 佐藤勲一 三沢昭一 村上武三 成田良一 村上義一 畠山藤一郎 畠山庄治 畠山俊男 内山昭一 畠山信一 浅村満州男 小笠原喜一(以上綴子) 木村英一 畠山克己(以上七座)
- 日市) 佐藤健一 堀部隆一(以上七座)
- ▽十五年勤続表彰 仲村福士 成田金正 松岡公憲 成田岩直(以上七座) 村上米蔵(以上綴子)
- ▽十年勤続表彰 杉下広(鷹巣) 佐藤辰正(坊沢) 高橋恵一 高橋利男 山内文雄 高橋彰(以上綴子) 中島清一 神成市郎(以上沢口)
- ▽七年勤続表彰 成田捷太郎(七座) 佐藤一吉(綴子)
- ▽優良消防団員表彰 真崎福司(鷹巣) 大川米四(七座) 佐藤秀信(坊沢) 高橋恵一 出川一久(以上綴子) 村上義文(栄) 近藤利左衛門 藤原孝夫(以上沢口) 佐藤健一 堀部隆一(以上七座)

交通事故撲滅に誓う!!

指導隊で町長査閲

町交通指導隊の町長査閲が四日午前九時から役場庁舎前で行われました。

出川町長は査閲で、「隊員の日頃のご苦労に心から感謝する。交通事故は、みなさんの努力により年々減少してきていることは本当によろこばしい限りだ。本年も指導隊の機能を十分に發揮し、死亡事故は勿論、交通事故撲滅に努力してほしい」とあいさつ、続いて佐藤鷹巣警察署長から交通指導隊に感謝状を贈り、年頭の町長査閲をおわりました。

いよいよ昭和五十二年のスタート。昨年は国内外とも政局が混乱した激動の一年でしたが、今年こそ豊かで、静かで安定した年になってもらいたいもの。せめて心にゆとりを持って過ごして行きたいものです。

※ 栄地区の新年祝賀会が元旦に行われました。

年の始めの、ためしとておわりなき世の、めでたさを松竹立てて、門ごとに祝うきょうこそ、楽しけれ参加者全員が起立しての合唱、それぞれの胸に去来するものがあつたのでしょうか。戦時中の、「一月一日」がしばし話題となったことでした。

※ 年末から年始にかけて、降雪と寒波が続いています。カゼも流行のきざしをみせています。健康には十分注意してください。

▽ いろいろ火はトロトロ、外は吹雪、小学唱歌の冬の夜ではありませんが、生活の場を快適な温度に保つことは健康にも、仕事の能率にも大切なことです。建具のすきまから逃げる熱を少なくするなど、冬の住生活をくふうしてみてください。



営庶業白色申告者の 確定申告説明会

昭和51年分所得税の確定申告は
2月16日(水)から3月15日(火)ま
です。

これに先立って税務署では、特
に営庶業白色申告者を対象に所得
の計算方法、申告書の書き方等の
説明会を開催します。

当町の場合は、2月2日午後1
時から鷹巣町役場3階大会議室に
おいて行います。

正しい申告と納税をされるよう
多数のご出席を望みます。



一線美術会会員 九島察二氏

おしらせ

予防接種

生後三ヵ月から十八ヵ月までの
乳幼児を対象に、経口ポリオワク
チン(小児マヒ予防接種)の投与
を行います。

投与日は、鷹巣地区以外の方は
十九日、鷹巣地区の方は二十日
です。以前一回しか投与されなかつ
た場合は、必ず二回目の投与を受
けること。

受付時間は、午後一時から午後
二時半まで、鷹巣町公民館保健相
談室で行います。

※禁忌と注意

生ワクチンに関する一般的な禁
忌である免疫産生機能に異常あり
と想定される場合は、投与を行
いません。その他、下痢患者も治癒
してから投与します。生ワクチン
投与当日の入浴はさしつかえあり
ません。
母子健康手帳は、必ず持参して
ください。

一月の健康相談

成人健康相談は、二十六日です。
時間は、午前九時半から午後三時
まで。

フッ素イオンむし歯予防は、二
十六日です。
時間は、午後一時から午後三時
まで。対象者は、満三歳児以上の
幼児で、おいでの時は母子手帳を
忘れずにお持ちください。

糖尿病健康相談は、二十七日で
す。
時間は、午前九時半から午後三
時まで。食生活や日常生活の相談
のほか、血圧測定、尿検査も行い
ます。

※場所は、いずれも鷹巣町公民館
保健相談室です。

町民スキー大会 出場者を募集!!

第十五回町民スキー大会は、二
月十一日(祝日)町営薬師山スキ
ー場で開催されますが、その出場
申し込みを受け付けております。

競技は、小学校の部(四年以上
の学年別)、中学校の部、青年の
部(高校生を含む二十五歳まで)、
成年の部(二十六歳から三十四歳
まで)、壮年前期(三十五歳から
四十四歳まで)、壮年後期(四十
五歳以上)、一般女子(高校生含
む)に分かれ、回転、大回転、距

離、リレー競技などが行われます。
出場希望者は、二月五日まで鷹
巣体育館(電話二一三八〇〇)に
申し込んでください。

新町内協力員紹介

▽七日市地区 大川正夫
三ノ渡

香典返し

このほど次のかたから、香典返
しにと町社会福祉協議会へ寄付金
がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします。
▽新松葉町〱九島レイ子さんから
亡母ヤエさんの香典返し
三〇、〇〇〇円
▽花園町〱長崎一男さんから亡妹
ヤエさんの香典返し
二〇、〇〇〇円

慶弔だより

12月16日〜12月31日

誕生おめでとうございます

- 佐藤 卓弥(博重) 長男 南鷹巣
齊藤 誠(昭治) 二男 三吉町
金沢 伸也(正美) 二男 掛泥
藤島重紀子(宗弘) 長男 綴子下町
佐藤 雅樹(義光) 長男 松葉町
奈良田智也(栄二) 長男 材木町
亀山みゆき(喜美雄) 長女 田沢
千葉真実子(昭二) 長女 舟場

二人の前途を祝福いたします

- 佐藤 文信 脇神
佐藤 ミサオ 阿仁町
津谷 満 大館市
畠山 よし子 松沢
後藤 智 八森町
畠山 久子 大町

おくやみ申しあげます

- 成田 トミ(69歳) 仲町
鈴木 茂蔵(80歳) 上舟木
立花 ヨネ(52歳) 掛泥
堀部松三郎(81歳) 葛黒
沢田 文雄(46歳) 前山
中島幸次郎(65歳) 小ヶ田
今川 京子(28歳) 糠ヶ丘
津谷 フミ(79歳) 緑ヶ丘
野呂 サヨ(88歳) 緑ヶ丘

〔訂正〕

一月一日付け十二ページに掲載
の「ゴミ収集日程表」から、太平
町が脱落していましたが、同町
内は毎週火、金曜日収集となつて
おりますので、おわびしてお知
せします。